

# 令和7年度 黒沢尻北小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～子どもたちの笑顔のために～

黒沢尻北小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

## 1 現状

[定量的現状]

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」目標達成状況について  
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」

・R7年度目標15人、(R6年度:25人)

「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロにする。」

・R7年度目標:0人、(R6年度:4人)

[定性的現状]

○ 教職員の意識

・課外活動に多くの時間を使っており、最終退庁時刻やノー残業デーについて、行動面で浸透しきれていない。

○ 管理職のマネジメント

・働き方改善の目的を校内や外部に周知するとともに、面談やワークショップ等とおして、現状や改善について把握・意見交流をしている。

## 2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

○ 北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。

○ ノー残業デーの確実な実施をめざします。

<目指す姿>

・ 授業や児童に向き合えるような体制や教育活動の見直しを継続して行う。

・ 最終退庁時刻や時間外勤務等、時間を意識した働き方をしている。

・ 管理職が日頃から、教職員の状況について留意し、必要に応じた面談や対話を行っている。

・ ねらいと考えあわせながら、引き算の思考で業務について見直している。

・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子供たちに向き合うことができている。

・ お互いに声を掛け合えるような、風通しの良い職場をめざしている。

## 3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

### ○ 教職員の健康管理

- ・ ノー残業デーの取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・ 校内衛生委員会の実施による情報共有や呼びかけを行います。
- ・ 管理職が、職員に積極的に声掛けをして、状況等の共有をします。
- ・ 最終退庁時刻を設定し、周知します。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

### ○ 学校における業務改善の推進

- ・ ICTを活用し効果的な授業を行います。
- ・ 管理職が業務改善についての意見を集め、必要な協議を行い、改善をめざします。
- ・ 行事のねらいを明確にし、適切な時期や回数等の視点で見直しをします。
- ・ 時程の見直しを行い学年会等の時間を確保します。
- ・ 業務のDX化を推進し、職員会議等の資料はペーパーレスとします。また学校から発出する文書のデジタル化を進めます。
- ・ 指導案等の校内文書の形式の簡略化を行います。
- ・ パソコンデータの共有化を図ります。
- ・ 放課後の時間を生み出す視点で業務の見直しをします。

### ○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 学校運営協議会で働き方改善について周知し理解を求めます。
- ・ 学習支援ボランティアの協力を得て授業や個別指導の充実を図ります。
- ・ 働き方改善に向けた取組について、校報を通じて保護者の方に理解いただけるよう説明をします。
- ・ 地域コーディネーター、ボランティアとの連携により教育活動及び図書館運営の充実をめざします。
- ・ SC、SSWと連携し児童支援や対応にあたります。
- ・ 専科教員を有効活用した教科担任制を行います。
- ・ 課外活動の計画を吟味していくとともに、父母会等との連携を図ります。

令和7年4月21日 北上市立黒沢尻北小学校 校長 三浦 秀行

### (参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

・ 令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

・ 令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%